

**新型コロナウイルス等感染症対策
特別委員会資料**

令和3年9月22日（水）

**福祉保健部
病院局
教育委員会**

目 次

	頁
【福祉保健部】	
I 新型コロナウイルス感染症に関する本県の対応状況等について ……	1
【病院局】	
II 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について ……	5
【教育委員会】	
III 県立学校における新型コロナウイルス感染症への対応について ……	7

I 新型コロナウイルス感染症に関する本県の対応状況等について

福祉保健部

1 感染状況等について

(1) 感染状況

期間等	感染者数	有症状者		重症者		死者	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
第1波 (R2. 3. 4~4. 11:39日間)	17人	16人	94.1%	1人	5.9%	0人	0.0%
第2波 (R2. 7. 22~9. 14:55日間)	345人	299人	86.7%	4人	1.2%	1人	0.3%
第3波 (R2. 11. 15~R3. 3. 7:113日間)	1,576人	1,181人	74.9%	24人	1.5%	21人	1.3%
第4波 (R3. 3. 27~6. 20:86日間)	1,112人	873人	78.5%	20人	1.8%	5人	0.4%
第5波 (R3. 6. 21~9. 16:88日間)	2,973人	2,527人	85.0%	19人	0.6%	12人	0.4%

※第5波は9月16日までの数字、上記各期間に入らない感染者数11人

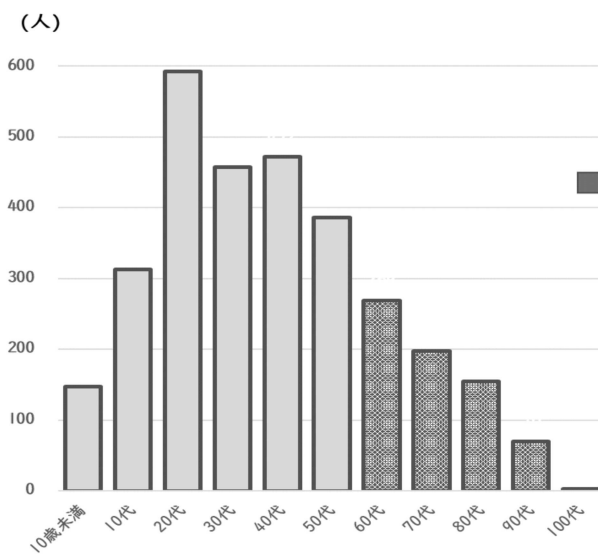
(2) クラスタ発生状況

分類	第1波	第2波	第3波	第4波	第5波	合計
医療機関	0	0	1	0	1	2
高齢者施設	0	1	8	1	2	12
障がい者福祉施設、児童福祉施設	0	0	0	0	4	4
学校、教育・保育施設	0	0	4	4	5	13
職場	0	0	3	5	21	29
接待を伴う飲食店・飲食店	0	2	1	7	4	14
会食	0	0	2	7	10	19
その他	0	0	3	1	1	5
合計	0	3	22	25	48	98

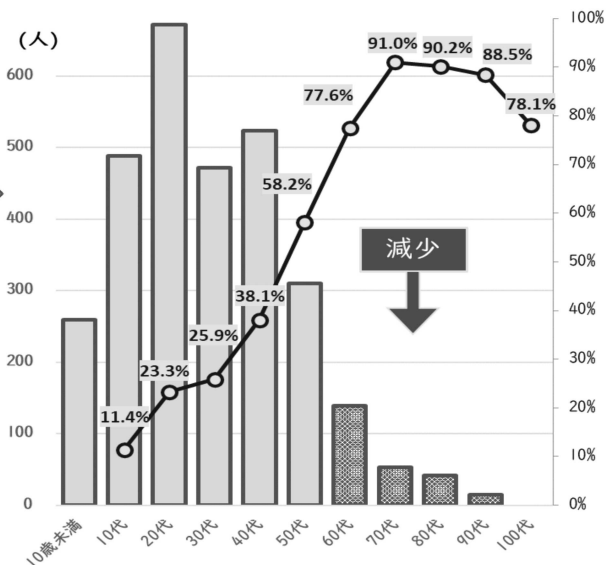
※第5波は9月16日までの数字

(3) 年代別感染者数と接種率

年代別感染者数（第4波まで）



第5波における感染者数と接種率（2回目）



※10代の接種率については、ワクチンの対象者である12歳以上で算定している

2回接種済みでの感染者220人（9月16日時点）

2 医療提供体制の強化について

(1) 入院受入病床等の状況

① 入院受入病床を20床追加（307床から327床に増床）

	宮崎 東諸県	日南 串間	都城 北諸県	西諸	西都 児湯	日向 入郷	延岡 西臼杵	合計
変更前	121床	10床	61床	20床	13床	18床	64床	307床
変更後	124床	10床	66床	20床	17床	26床	64床	327床

※9月2日から変更

(参考) 今年度の増床状況

4月1日時点：274床、5月8日：281床、5月27日：285床、7月9日：307床

② 新型コロナ患者の転院受入支援の状況（9月16日時点）

- ・ 後方支援病院の登録数 40医療機関
- ・ 患者転院受入の実績数 4医療機関 15件（補助事業の申請数）

(2) 宿泊・自宅療養者への対応

① 医師・看護師による健康管理体制の強化

- ・ 自宅療養者に対し、医師・看護師の電話や訪問による健康観察の実施
高千穂保健所管内を除く各保健所管内で実施中
- ・ 宿泊療養者、自宅療養者の外来診療体制の確保

② 自宅療養者への支援

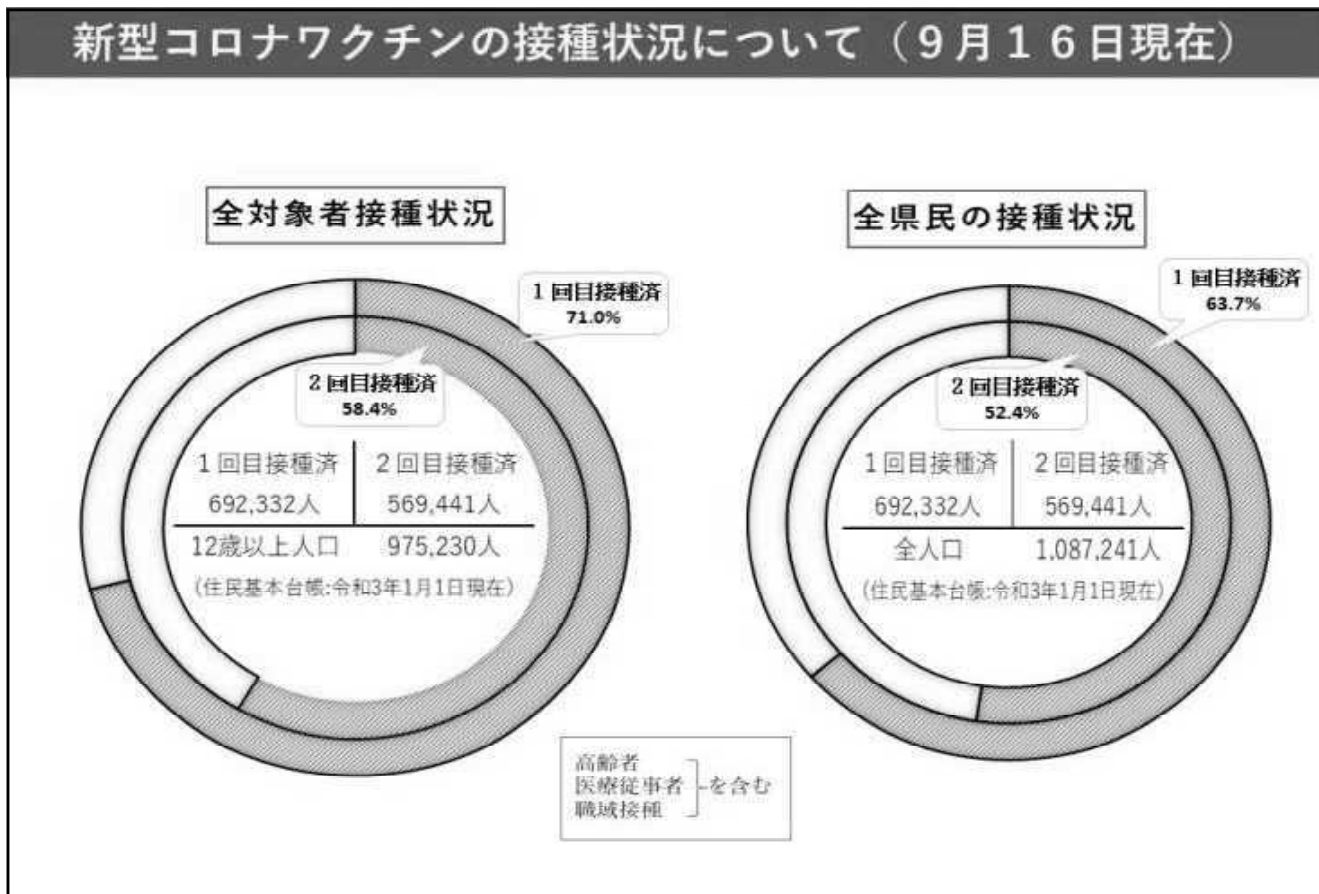
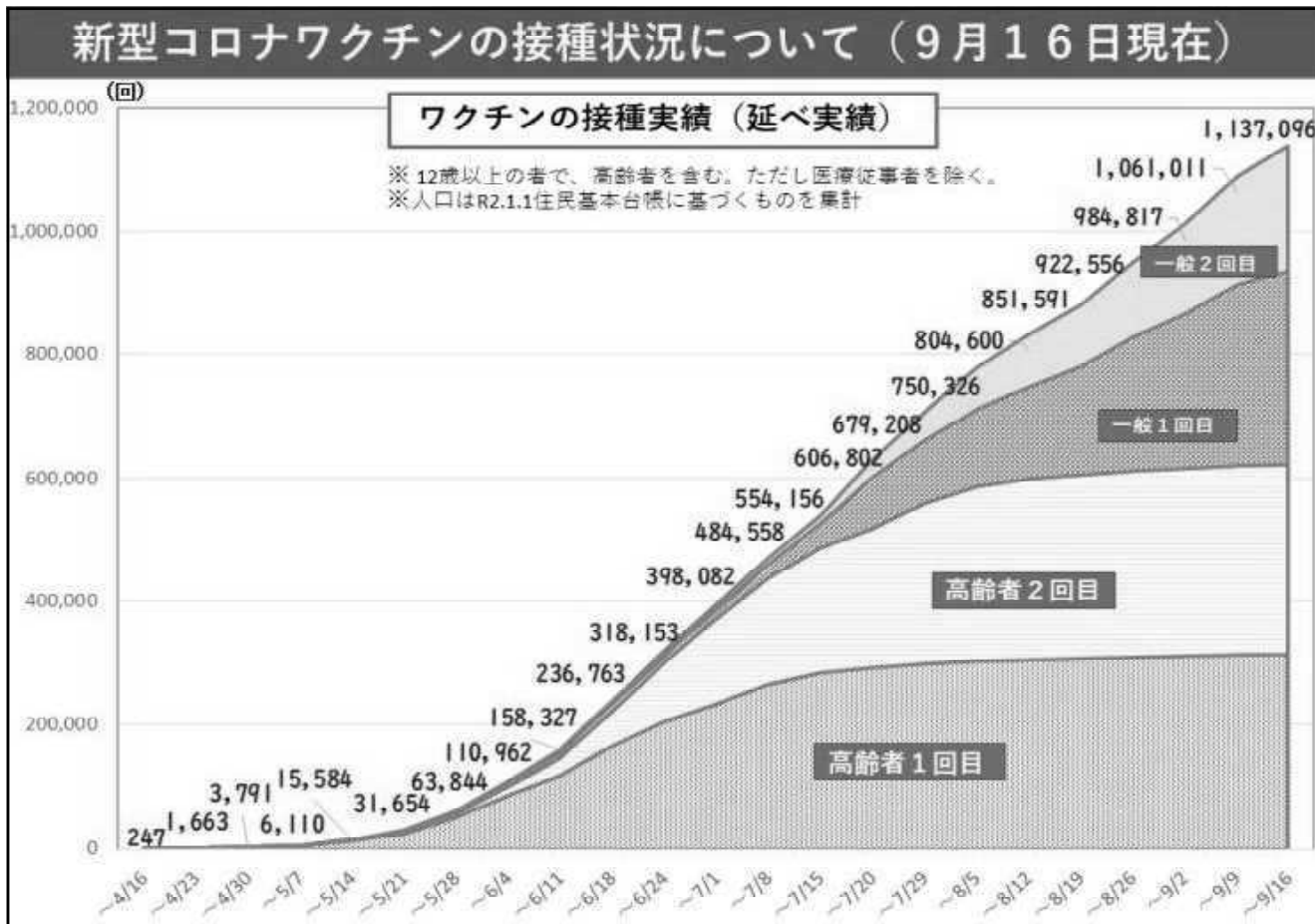
- ・ パルスオキシメーターの貸与
- ・ 希望者に対し、食料・生活用品セットを配送
配送実績 813人（9月16日時点）

③ 「宮崎県重症化予防センター」の開設

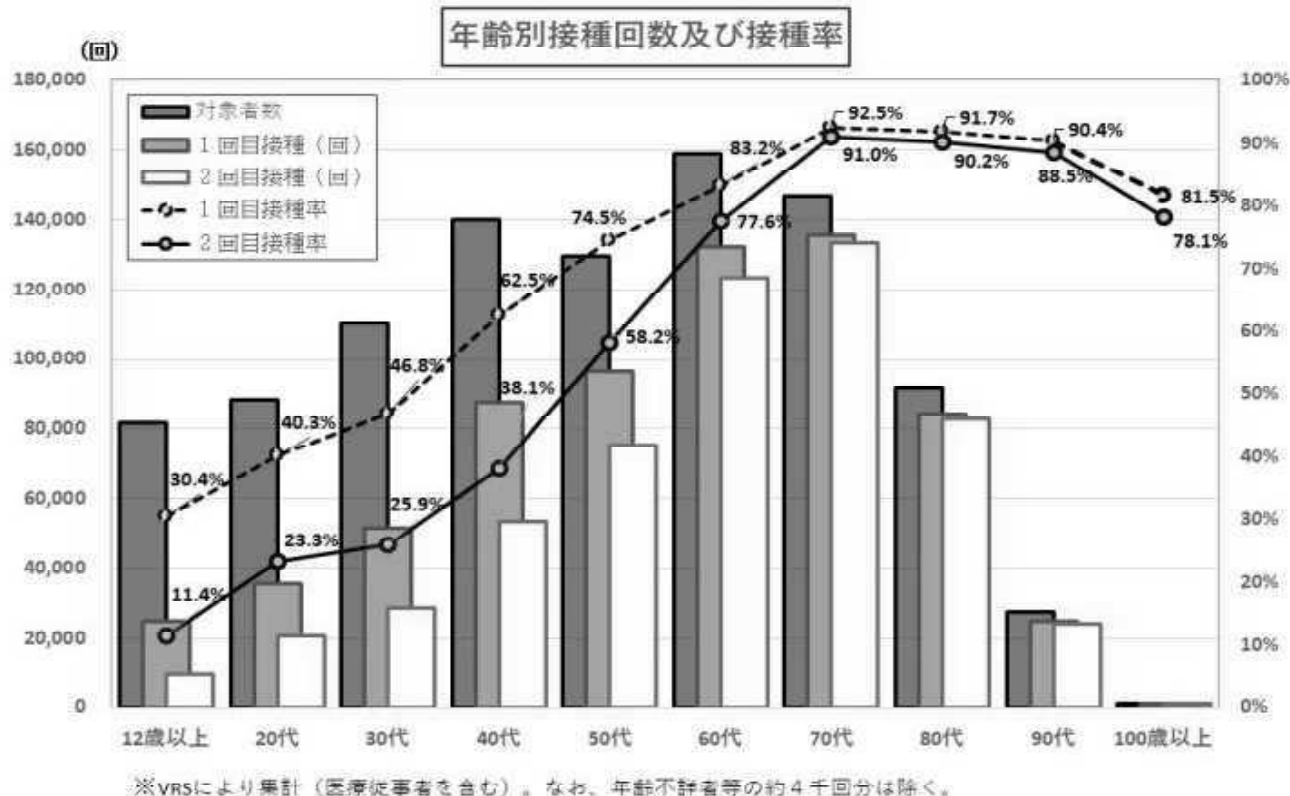
宿泊療養施設「ひまわり荘」の敷地内に、重症化リスクを有する宿泊・自宅療養者を対象とした抗体カクテルの投与などを行う臨時の医療施設を整備し、9月10日（金）から運用を開始

- ・ 受入規模 10床（最大20床）
- ・ 人員体制 医師1名、看護師3名 ※県立宮崎病院から派遣
- ・ 受入対象 県央・県南地域の宿泊・自宅療養者のうち、抗体カクテル療法をはじめ点滴などの処置を要する者
- ・ 受入実績 7人（9月17日時点）

3 ワクチンの接種状況について



新型コロナワクチンの接種状況について（9月16日現在）



若年層向けの接種率向上に向けた対策について

県における接種環境の充実

- 職域接種の推進
企業・大学等における職域接種を支援
- 県主催の大規模集団接種における接種機会の確保
接種対象者を12歳以上に拡大

啓発活動

- 新聞・テレビ・タウン誌による啓発
- 若年層を対象するSNSを活用した動画の配信
(Twitter、LINE、Facebook、Instagram、Tver)
- アミュプラザ前大型ビジョンでの啓発動画の放映
- ワクチンの効果・誤った情報に関するポスター・チラシの作成（別添）
県内の大学、高等学校、中学校、専門学校等の教育機関への配布
関係団体等を通じての啓発



Ⅱ 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について

病院局 経営管理課

1 県立病院におけるこれまでの取組状況

(1) 患者受入状況

(R3.9.15現在)

病院名	確保病床数	累計受入数	現在受入数
宮崎病院	7床 (感染)	222人	8人
	10床 (一般) 計 17床		
延岡病院	4床 (感染)	94人	3人
	10床 (一般) 計 14床		
日南病院	4床 (感染)	55人	7人
	6床 (一般) 計 10床		
合計	15床 (感染)	371人	18人
	26床 (一般) 計 41床		

※患者急増時には、病床を追加で確保し、患者の受入れを実施。

(2) 主な取組

- ① 他の受入医療機関との役割分担のもと、中等症以上の患者や看護必要度の高い患者の積極的な受入れを実施。
- ② 宿泊療養施設及び保健所に、医師や看護師をDMATとして派遣し、患者の健康観察等を実施。
- ③ 新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種会場等において、医師、薬剤師及び看護師がワクチン接種業務に従事し、ワクチン接種の早期完了に協力。
- ④ ひまわり荘敷地内に開設された県重症化予防センターにおいて、医師及び看護師が重症化を予防する抗体カクテル療法や点滴などの医療的措置を実施。

2 今後の対応方針

新型コロナウイルス感染症患者の持続的・安定的な受入れに向けた院内体制を維持しつつ、地域の医療機関とも連携しながら、県立病院が本来担うべき救急医療や高度・急性期医療等との両立を図っていく。

Ⅲ 県立学校における新型コロナウイルス感染症への対応について

教育委員会

今回の「第5波」では、全国的に小・中・高校生を含む若年層の感染者数が増加したことから、新学期を迎えるに当たり、子どもたちを感染拡大から守り、その学びを保障するための新型コロナ対策に係る取組を強化した。

1 新学期における学校での対策

(1) 感染防止における保護者との連携

新学期を迎えるにあたり、各家庭においても危機意識を高め、児童生徒の健康・安全の確保に努めていただくよう保護者への啓発を行った。

(別紙：「新型コロナウイルス感染症の予防について」参照)

(2) オンラインを活用した学習指導

- やむを得ず学校に登校できない生徒等に対し、オンラインを活用した学習指導を実施

(3) 希望する教職員へのワクチン接種

- 接種を希望する教職員に対し、県の大規模接種や市町村ごとの接種を通じた接種の加速

(4) 早めの学校閉鎖判断

- 県立学校においては、陽性者が判明した場合は、保健所の判断を待たずに、生徒を全員自宅待機
- 保健所による濃厚接触者の特定を待って、登校できる範囲を決定

(5) 抗原簡易キットの配備

- 教職員や速やかな帰宅が困難な児童生徒への抗原簡易キットの活用
(県立学校への簡易キットの配備、市町村教育委員会に対する案内・助言)

2 県立学校の感染症対策事例

- 分散登校、時差登校
- 午前中のみ短縮授業（昼食なし）
- 感染対策を講じてもリスクが高い学習活動（調理実習、密集接触運動、グループワーク等）は行わない。
- 昼食の自席黙食指導（校内放送で呼びかけ）
- 常時換気及び定期的な窓の全開放

令和3年8月23日

保護者の皆様へ

宮崎県教育委員会

新型コロナウイルス感染症の予防について（お願い）

日頃より、本県教育活動に御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本県におきましても新型コロナウイルス感染症が急拡大しており、特に小・中・高校生を含む若年層の感染者数が増えている状況となっています。

各学校においては、感染防止対策を再確認し、安心・安全な学校生活が続けられるよう体制の整備に努めているところであります。

つきましては、各家庭におかれましても、強い警戒感をもって、感染予防対策の徹底をお願いいたします。

家庭での感染予防対策の徹底を！

- 本人及び同居の方の、毎朝の検温と健康状態の確認
- 登校や外出の際の適切なマスクの着用
- 帰宅後のこまめな手洗い（手指の消毒）

※ 次の場合は、登校をさせずに、医療機関に相談してください。
その際は、必ず、学校に連絡をしてください。

- 発熱や倦怠感、のどの違和感などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合
→ 感染が拡大している地域では、同居の方に同様の症状がある場合も登校させないでください。
- 同居の方が、感染もしくは感染の疑いがある場合